

令和8年度小林市若者会議開催支援業務委託に係る

小林市若者会議 概要 【全体像】

若者や女性の挑戦
を応援する。

基本骨子・体制・運営方針

◎ 設置の背景と目的

地域のつながりの希薄化や担い手不足が課題となる中、次世代の地域づくりを主導する若者世代の台頭が急務となっています。

本会議は、若者が主体的・自主的に地域の未来を語り合い、実践に繋げるための「実践プラットフォーム」として設置します。

【最大の目的】

「地域のまちづくりの担い手の発掘・育成」に取り組むことにより、「地域の課題解決及び若者が主役となる地域活性化の仕組みづくり」を構築します。



1. 若者の自主性を徹底尊重

行政がルールを引かず伴走型支援に徹する



2. 参加しやすい環境づくり

夜間・土日の開催配慮や柔軟な運営体制を担保する



3. 世代間の連携

まちづくり協議会（きずな協働体）と地域の若者が協力して取組を実施できる関係性を構築する

若者会議の構成・ネットワーク体制

対象年齢層（幅広く募集）

概ね市内の**19～40歳**

対象年齢層（幅広く募集）

社会人（子育て世代）

学生

小林市役所の若手職員

初期メンバー
社会人（子育て世代）
＋
学生
＋
小林市役所の若手職員

※最大45名程度の参加

- 多様な構成：学生、社会人、子育て世代などの視点を多角的に融合
- 選出方法：市内9地区の各まちづくり協議会から2名～3名程度を選出・推薦
(内1名以上は女性の方を推薦)
- 将来ビジョン：令和9年度に各地区に「地区若者会議」を立ち上げ、本会議はその活動を繋ぎ、連携する組織として機能することを目指す



小林市若者会議 実施ロードマップ

予算化から地区展開、そして具体的実践へ

※今年度小林市若者会議開催支援業務委託で実施

R8.10
~R9.3

基盤・ルール決定

計3回WS開催。会議体や取組
の方向性は若者自ら決める

R9
上半期

9地区へ展開

「地区若者会議」を順次設置、地域
で実施する取組について話し合い

R9
下半期

地域実践活動

各地区が主体となる具体的
なアクションの実施

R10

プレゼンの実施

各地区ごとにプレゼンを実施
プレゼン内容によって活動費の増加を検討
※各地区の活動の主体は地区若者会議

※重要テーマ

1. 若者会議での意見を集約し、 テーマを決定

例) 地域の中心である中学生・高校生を能動的
に巻き込み、小林市への郷土愛を育む取組

例) 自治会活動や地域活動を活性化させる取組

例) 地域の課題を解決する取組

小林市役所若者会議を設置

- 小林市や小林市役所の未来を語り合う
- 小林市若者会議との協働
- 人口減少対策などのプロジェクトに
参画

